

平成29年版  
モニタリングレポート  
主なポイント

平成29年7月  
公認会計士・監査審査会

# モニタリングレポートについて

## 公表の趣旨

資本市場における会計監査の役割の重要性が一層増している中、監査の品質の持続的な向上を図るため、企業・株主をはじめ、より多くの人々から監査事務所における監査品質が適正に評価されることが重要となっている



監査及び会計の専門家だけでなく一般利用者に対しても、監査事務所の状況等についてできるだけ分かりやすい形で情報提供する

## 構成

### I. 監査事務所の品質管理の概要

監査事務所に求められる品質管理、会計士協会レビュー及び審査会によるモニタリングの概要  
…内容例①

### II. 監査業界の概観

公認会計士、監査法人、被監査会社の概況及び会計監査人の異動の動向

### III. 監査事務所の運営状況

監査事務所の運営状況について、大手、準大手、中小それぞれの特徴  
…内容例②、③

# 内容例①－総合評価

■ 平成28事務年度に着手した検査から、

- 監査事務所に対し審査会の評価を的確に伝えるとともに、
- 監査役等が自社を監査する監査事務所の品質管理の水準についての理解に資することを目的にして、

監査事務所の業務運営に関する総合評価を検査結果通知書に記載

## 総合評価の5段階区分

総合評価の記載	評価内容	平成28事務年度の総合評価の状況
概ね妥当である	業務運営が良好と認められる場合	-
妥当でない点がある	改善すべき点はあるが、業務運営が概ね良好と認められる場合	5
妥当でないもの	業務運営が良好でないと認められる場合	1
妥当でなく業務管理態勢等を早急に改善する必要	業務運営が良好でないと認められ、特に早急な改善が必要な場合	1
著しく不当なもの	品質管理態勢及び個別監査業務の状況に重大な不備が認められ、自主的な改善が見込まれない場合(原則として勧告対象)	1

※事務年度中に着手、検査結果を通知したもの

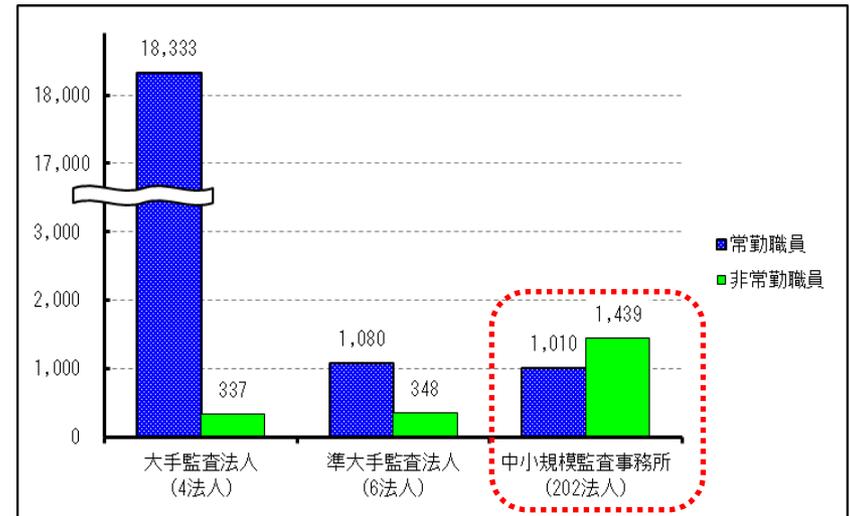
# 内容例②－監査事務所の状況

- 監査事務所は、監査業務をサポートするために、品質管理の充実やITの活用を推進
- 中小規模監査事務所では、業務運営上の必要な監査補助者を非常勤職員に依拠する傾向

## 大手監査法人におけるサポート態勢 及び役割の事例

サポート部門		役割
品質管理部門	リスク管理部門	独立性、監査契約の締結・異動等の承認、不正リスクへの対応等
	定期的検証部門	日常的監視・定期的な検証
	会計サポート部門	会計基準・会計処理に関する専門的な問合せ対応等
	監査サポート部門	監査基準・マニュアルの対応、監査手続に関する専門的な問い合わせ対応等
	審査部門	審査担当者による審査を採用している場合でも、重要性又はリスクの高い個別の検討事項について、より上位の審査を実施
IT部門	被監査会社のIT領域に関する監査の実施、監査チームが実施するITを活用した監査手続のサポート等	
国際部門	国際業務監査、グループ監査への対応等	

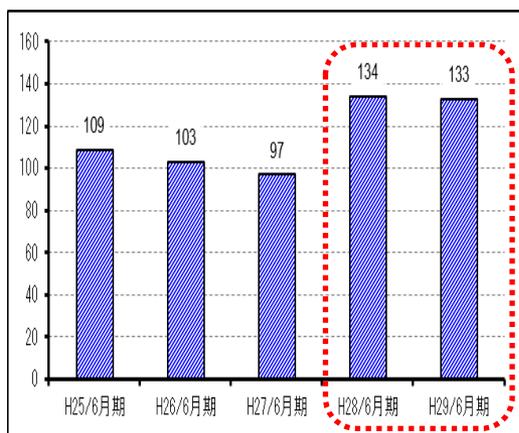
## 常勤職員、非常勤職員の人員数 (平成27年度、単位:人)



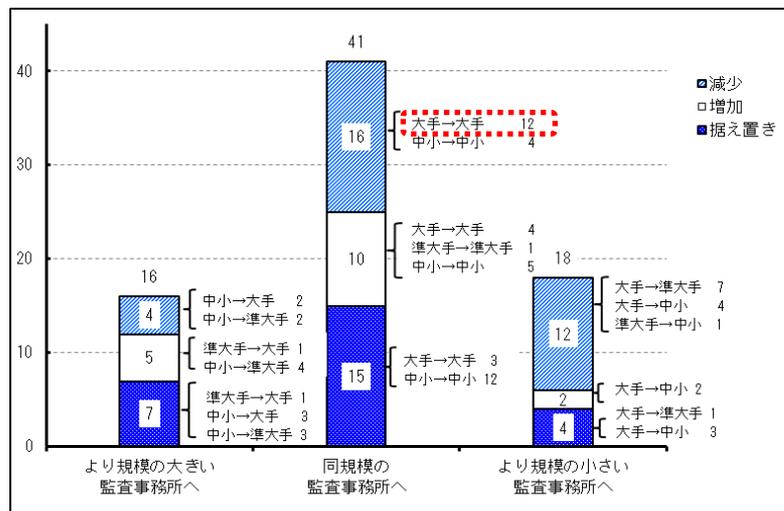
# 内容例③－会計監査人の異動

- 会計監査人の異動は、最近2年間は高い水準
- 大手監査法人同士の異動では、過半数で監査報酬が減少
- 変更理由で多いものは、監査報酬又は監査チームに対する不満等

監査法人を変更した  
上場国内会社数



監査人異動後の監査報酬の状況(単位:件)



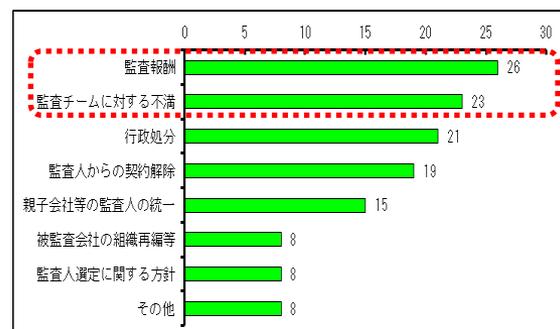
(注1) 平成27年1月決算から平成27年12月決算の上場国内会社に係る監査人の異動のうち、異動前後の監査報酬が公表されているものを集計。1百万円超の変動を増加又は減少とみなした。

(注2) 監査人の合併・移籍に伴う異動(15件)は、分析の対象に含めていない。

(注3) 件数の内訳はグラフに記載。

(出典) 監査人の異動に関する適時開示及び有価証券報告書

前任監査人から把握した会計監査人の異動理由(大手、単位:件)



(注1) 平成28事務年度検査及び報告徴収において把握した97件を対象。

(注2) 複数の理由がある場合、重複して集計(合計128件)。